



Walk with Children

めぐろ



せいび

172号
2021年9月

…そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

(ローマ人への手紙 5章 3-5節)

校長 シスター 小島 理恵

緊急事態宣言延長の発表を受け、学校では30日までオンライン授業を継続することを決定しました。子どもたちにとっても教員にとっても、対面での学習の方がより効果的であることを実感する毎日です。しかし、今は忍耐の時です。画面越しに見える子どもたちの真剣な表情からは、学習への意欲と共に友達と一緒に学習できる喜びが感じ取れ、教員の授業準備にも力が入ります。

昨年度から今日に至るまで、大きな問題もなく過ごしてこられましたのは、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

コンネッショーネ
Conessione

～つながり～

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

8月16日はドン・ボスコの誕生日です。今月は本校の創立者であるドン・ボスコのゆかりの地についてです。



左の写真は北イタリアの「^{コッレ ドン ボスコ}colle don Bosco」(ドン・ボスコの丘)と呼ばれている場所です。ドン・ボスコの生まれたその場所に、現在は大聖堂が建てられています。右の写真は、ドン・ボスコの育った家が残されたものです。今では2階が博物館として使われ、訪れる人達の心を癒しています。これらの場所には今も多くの人たちが巡礼に訪れ、ドン・ボスコの思いに寄り添いながらお祈りを続けています。



ドン・ボスコ記念大聖堂



ドン・ボスコが育った家(ガゼッタ)



『ドン・ボスコガイドブック』
サレジオ会日本管区編
(ドン・ボスコ社引用)

夏休みの学校

夏休みの学校の様子です。子ども達の登校していない学校はとても静かでしたが、校舎や校庭では、2つの大きな出来事がありました。

その1 定期点検

今年度は校舎外壁の点検を行いました。

毎日暑い中、たくさんの方々が学校に通う子ども達の安全のために、力を尽くしてくださいました。



その2 アサガオの鉢植えの搬出 ～パラリンピック会場へ～

7月30日（金）発行の日本経済新聞に「応援のアサガオ選手ら 癒やす」との記事が掲載され、子ども達の育てたアサガオについて取り上げられていました。また、オリンピックの閉会式でも、東京オリンピック委員会会長の橋本聖子さんから「アサガオのつるはたくましく、力強く世界の人々の結束を表しているようです。」と、フラワープロジェクトについての言葉がありました。

本校の1年生が育てたアサガオの鉢植えはパラリンピックの会場に置かれ、同じく選手や大会関係者に勇気と希望を与えたことでしょう。



9月の学校

感謝の日

「感謝の日」を以前は9月8日に学校行事として行っていました。その日はマリア様の誕生日だからです。世界中の子ども達のお母さんであるマリア様の誕生日を祝い、いつも温かく見守ってくださるマリア様に感謝する日として始められたと言われていいます。今でも私たちの周りでいつも見守ってくださるたくさんの方々に感謝する日として、毎年9月に学校全体で様々な取り組みを行っています。今年はコロナ禍のために、延期いたします。普段から周りに目を向け、感謝の思いを大切にできるような心がけていきます。



～全校保護者会のお知らせ～

9月18日（土）にオンラインにて、全校保護者会を実施します。当日は学校長の挨拶の他、都立広尾病院の中島康先生より「家庭で行う減災対策」と題してお話しいただくことになっています。ぜひご参加ください。なお、詳細はホームページをご覧ください。